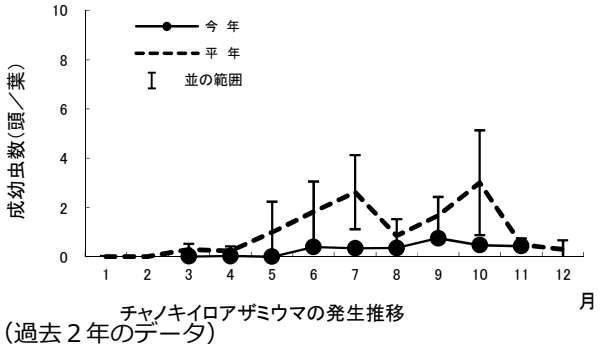
平成　29 年度

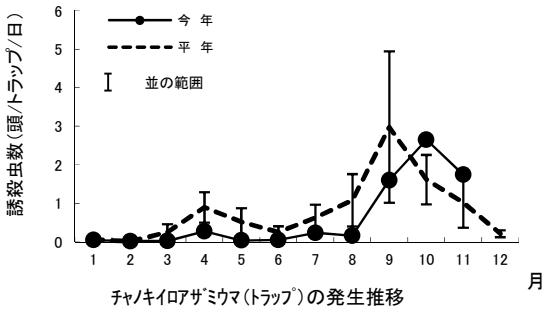
| 作物 | マンゴー | 地域 | 八重山群島 |
|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ① チャノキイロアザミウマ | | |
| 11 月の発生量（現況） | 並 | | |
| 12 月の増減傾向 | ↘ | | |
| 増減傾向の根拠 | 成虫・幼虫数及びトラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、11月より発生量は減少すると考えられる。 | | |

発生量の根拠（調査結果）

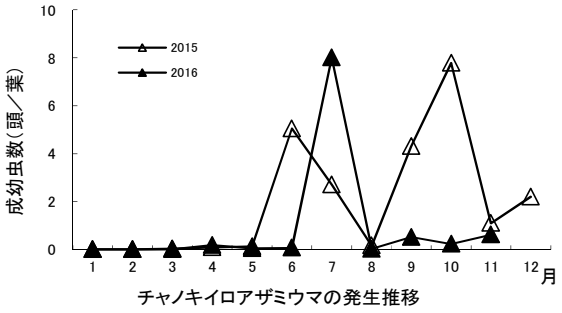
- 11月下旬の調査の結果、葉当たり成虫・幼虫数は0.4頭（前年0.6頭、平年0.5頭)と平年並であった。
- 11月の黄色粘着トラップへの日・トラップ当たり誘殺虫数は1.7頭（前年0.4頭、平年1.0頭）と平年よりやや多かった。

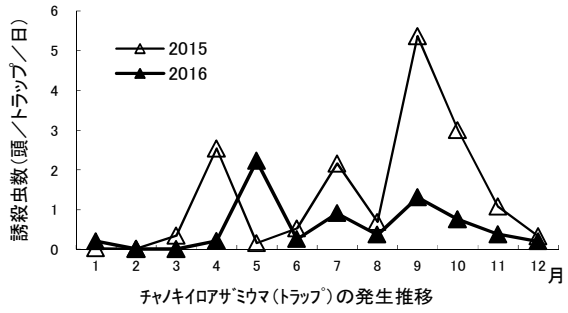
（今年のデータ）




（過去２年のデータ）




防除のポイント

・不要な新梢は、ほ場外に除去する。
・発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
・平成29年度病害虫発生予報第5号（平成29年7月27日付）コラム参照。

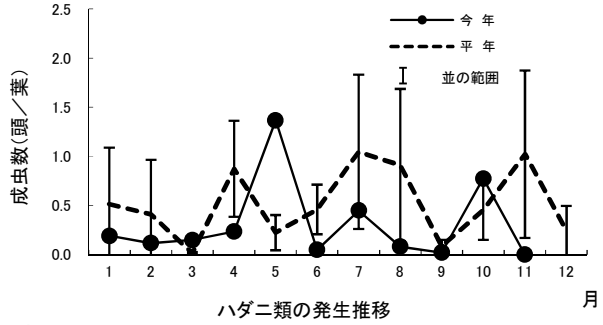
平成　29 年度

| 作物 | マンゴー | 地域 | 八重山群島 |
|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ② ハダニ類 | | |
| 11 月の発生量（現況） | (発生なし)やや少 | | |
| 12 月の増減傾向 | ↘ | | |
| 増減傾向の根拠 | 雌成虫数の平年の発生推移から、11月より発生量は減少すると考えられる。 | | |

発生量の根拠（調査結果）

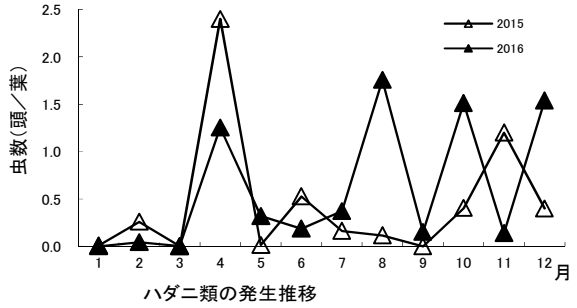
・ 11月下旬の調査の結果、成葉の葉当たり雌成虫数は0頭（前年0.1頭、平年1.0頭)と平年よりやや少なかった。また新葉においても、本種の雌成虫数は確認されなかった。

（今年のデータ）



ハダニ類の発生推移

（過去２年のデータ）



ハダニ類の発生推移

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・平成29年度病害虫発生予報第5号（平成29年度7月27日付）コラム参照。

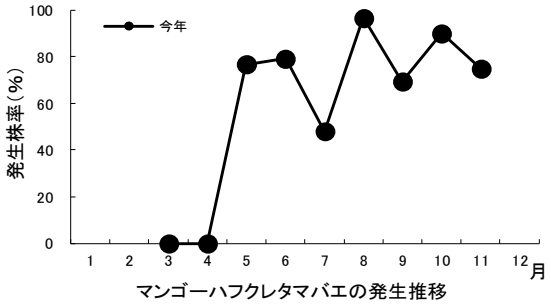
平成　29 年度

| 作物 | マンゴー | 地域 | 八重山群島 |
|---|---|---|---|
| 病害虫名 | マンゴーハフクレタマバエ | | |
| 11 月の発生量（現況） | 判定不可 | | |
| 12 月の増減傾向 | ↘ | | |
| 増減傾向の根拠 | 新梢の発生がほぼ終息していることから、11月より発生量は減少すると考えられる。 | | |

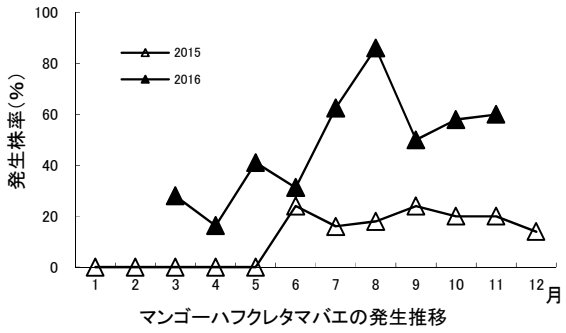
発生量の根拠（調査結果）

- 11月下旬の調査の結果、発生株率は75.0%（前年60.0%)、発生ほ場率は75.0%（前年100%）であった。
- データの蓄積不足のため、判定保留。

（今年のデータ）




（過去２年のデータ）




防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

・不要な新梢は、ほ場外に密閉処分する。

・平成29年度病害虫発生予報第5号（平成29年7月27日付）コラム参照。